

令和6年度（2024年度）第1回越谷市科学技術体験センター運営委員会

■日 時 令和6年7月4日（木） 10時00分～11時30分

■場 所 越谷市科学技術体験センター 2階レクチャー室

■出席者 （委員10名）手嶋委員長、小松副委員長、林委員、金子委員、小崎委員
木野内委員、野口委員、荒川委員、柳委員、佐藤委員

（事務局7名）小泉教育総務部長

川澄教育総務部副参事兼生涯学習課長

小抜生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長

北郷生涯学習課副課長、荒井主幹、阿部主幹、舩田主任指導主事、平澤主事

■欠席者 （委員1名）安川委員

■会議次第 1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

（1）令和5年度（2023年度）事業報告について

（2）令和5年度（2023年度）決算概要について

（3）令和6年度（2024年度）事業計画について

（4）令和6年度（2024年度）当初予算について

4 その他

5 閉 会

■内 容 下記のとおり

会 議 内 容

令和6年度（2024年度）第1回運営委員会会議録（令和6年7月4日開催）

1 開会 北郷生涯学習課副課長（司会）

2 あいさつ 手嶋委員長

3 報告事項

（1）令和5年度（2023年度）事業報告について

議 長 令和5年度（2023年度）事業報告についての説明を求める。

事務局 令和5年度（2023年度）事業報告の資料に基づいて説明を行う。

議 長 委員に諮る。

- 委 員 A I ロボットの中止の期間があったが、どのような理由があったのか。
- 事務局 昨年度は2階空調機の更新工事があり、2階の体験装置が使えない期間が生じた。その際、事業を見直し、復活させるものや新規で行うものがあった。A I ロボットは復活のものに含まれ、後期から実施した。
- 委 員 13ページの学校利用事業に星印（★）がついているものがあるが、新規事業ということによいか。
- 事務局 その通りである。また、学校利用のメニューについても定期的に見直しをしている。
- 委 員 こちらから出張している事業が多いが、以前のようにバスで科学技術体験センターに来館して体験させる仕組みはないのか。バスをチャーターすると非常にコストがかかるがどうなのか。
- 事務局 新型コロナウイルス感染症対策から、こちらからの出張事業に転換しているので、来館してもらうことはなくなった。館内で行う事業を充実させ、学校利用を通してミラクルの魅力や楽しさを知ってもらい、来館につながるようPRしている。コスト面についても同様で、自ら来館される仕組みを構築している。

（2）令和5年度（2023年度）決算概要について

- 議 長 令和5年度（2023年度）決算概要についての説明を求める。
- 事務局 令和5年度（2023年度）決算概要の資料に基づいて説明を行う。
- 議 長 委員に諮る。特になし。

（3）令和6年度（2024年度）事業計画について

- 議 長 令和6年度（2024年度）事業計画についての説明を求める。
- 事務局 令和6年度（2024年度）事業計画の資料に基づいて説明を行う。
- 議 長 委員に諮る。
- 委 員 科学講座で「大人向けの講座」があるが、土日開催する計画はあるか。
- 事務局 土日は、お子さんを連れた家族での利用が多いため、子供を対象とした講座が多く

なっている。大人だけの講座も徐々に増やしていきたいと考えている。

委員 27ページの「アウトリーチ事業」を今年度も引き続き実施するとのことだが、昨年度は利用がなかった。学校利用事業の出張事業に力を入れているとあるが、増やすための工夫はあるのか。

事務局 昨年度は利用がなかったが、今年度は、低学年向けのプログラミング講座について、アウトリーチの利用を検討している学校もある。今後は、メニューの再検討や市内小中学校への周知を行うとともに、教材貸出の希望を集めるなど連携を図っていききたい。

委員 今年度も3つの企画展を計画しているが、それに伴った講演などの計画があるか。世界のごみ問題や染色技法など、大人に関心のある科学分野もあるのではないかな。

事務局 企画展と連動した講師派遣は現在計画していない。しかし、SDGsやごみ問題、生成AIなど専門的な方を講師として依頼できないか検討している。

委員 最前線の技術開発は、民間企業が担っていると考えられる。そうした民間の方に依頼することはどうか。ミラクルのみでは無理だとしても、複数の科学館と連携して、ネットで同時中継するなど、様々なやり方で講座を開催できるのではないかな。

事務局 例えば、市の職員であれば、リサイクルプラザの職員、5市1町（越谷市、草加市、八潮市、吉川市、三郷市、松伏町）で一部事務組合を運営している東埼玉資源環境組合（清掃工場）の職員とコラボするなど、相手側のスケジュールやそれぞれの企画と重ならないよう検討する必要がある、今直ぐに実施することは難しいと考えている。令和6年度の後期か令和7年度の事業としてできるか調整したい。

委員 SDGsとごみ問題は、「国際理解教育」と「自分や生活に密着した問題」とをどう繋げるかを考えなければならない。ただ事実を並べるだけの事業にするのではなく、総合的に考えた企画展を事業化して欲しい。

事務局 ご意見ありがとうございます。それを踏まえて企画展を組み立てていきたい。

（４）令和6年度（2024年度）当初予算について

議長 令和6年度（2024年度）当初予算についての説明を求める。

事務局 令和6年度（2024年度）当初予算の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

- 委 員 「科学技術体験センター使用料」とあるが、どういう歳入か。
- 事務局 2階レクチャー室と4階多目的ホールは一般の貸し出しを行っており、1日もしくは半日（午前・午後）で金額を設定している。新型コロナウイルス感染症の影響で団体利用がなくなったものがあり、使用されないことが多かった。
- 委 員 講演の際に入館料をとるなどの計画はあるか。
- 事務局 講演の際に入場料や入館料をとることはない。ただし、科学教室等実費徴収金として、材料費をもらっている。
- 委 員 歳出の予算額で消耗品費が大きく減額しているが、企画展の実施に影響はないか。
- 事務局 パネルは紙を張り替えて使いまわしができる。紙やインク代としてこの金額で対応できる。今後大きな企画展などを行う際は予算要求していく。

4 その他

- 議 長 委員、事務局に連絡・報告等の事項を尋ねる。
- 事務局 次回の科学技術体験センター運営委員会の開催予定は、令和6年11月頃に予定している。開催通知については、会議の開催の1ヶ月前を目途に郵送にて案内するので、よろしくお願いしたい。

手嶋委員長が議長の職を降り、司会が進行役となる。

5 閉会

小松副委員長の挨拶にて閉会。